MOBO　Bluetooth®

MOBO Keyboard

折りたたみ式 Bluetooth® キーボード

取扱説明書

本紙に記載された内容は製品や OS のバージョンによって変更される場合がございます。
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については
保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、
付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。
他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、品名は
一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

**あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為
必ずお守りいただくことを記載しております。**

⚠ 危険	死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。
⚠ 警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
⚠ 注意	軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。

⚠	気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
⃠	してはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠危険

- ⃠ ・本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- ⃠ ・本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- ⃠ ・本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- ⃠ ・各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠警告

- ⃠ ・本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⃠ ・本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⃠ ・水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ⃠ ・液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ⃠ ・濡れた手で本製品に触らないでください。
- ⃠ ・小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- ⃠ ・プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ⃠ ・ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- ⃠ ・製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠注意

- ❗ ・静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- ❗ ・動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- ⃠ ・以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
  1. 強い磁界が発生するところ
  2. 火気の周辺や熱のこもるところ
  3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- ⃠ ・有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ⃠ ・本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- ❗ ・コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ⃠ ・使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。
  ※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

ワイヤレス（無線）についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能となります。
電波方式は GFSK 方式で、干渉距離は 10m 。
2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した際は、使用場所を変更するか、本製品の使用を停止してください。

※「他の無線局」とは、2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

・次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところ
同じ周波数の電波を使用しているものの近く

・本製品は、工事設計認証を受けています。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
本製品を分解／改造や、本製品の認証ラベルを剥がすこと。

警告

- 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
  まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤作動や、動作の低下、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。
  本製品の電波で各種電子機器や医療機器などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式機器を航空機内で使用することは、法律で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源は必ず切ってください。

パッケージ内容

・キーボード本体 … 1 台　　・USB ケーブル（USB A ⇔ MicroB / ケーブル長 : 約 1.5m）… 1 本
・スタンド機能付キーボードカバー　… 1 個
・ユーザーマニュアル 兼 保証書（本紙）　… 1 部

注意	ご使用の前に、内容物がすべて揃っているかを確認してください。 なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、 すぐにお買い上げの販売店またはアーキサイトサポート窓口までご連絡ください。

製品を使用するまでのステップ

**両サイドがたわまないように
左右のスタンドを立ち上げる**

↓

キーボードを開く（電源が入る）

～ Bluetooth 接続の場合～

バッテリー残量を確認
（“主な機能の説明” の項⑤参照）

↓

接続したい端末とペアリングする
（“主な機能の説明” の項①②及び
“ペアリングする” の項を参照）

↓

OS に合わせた最適化を行う
（“主な機能の説明” の項③参照）

～ USB 有線接続の場合～

接続したいデバイスとキーボードを
付属の USB ケーブルでつなぐ

↓

OS に合わせた最適化を行う
（“主な機能の説明” の項③参照）

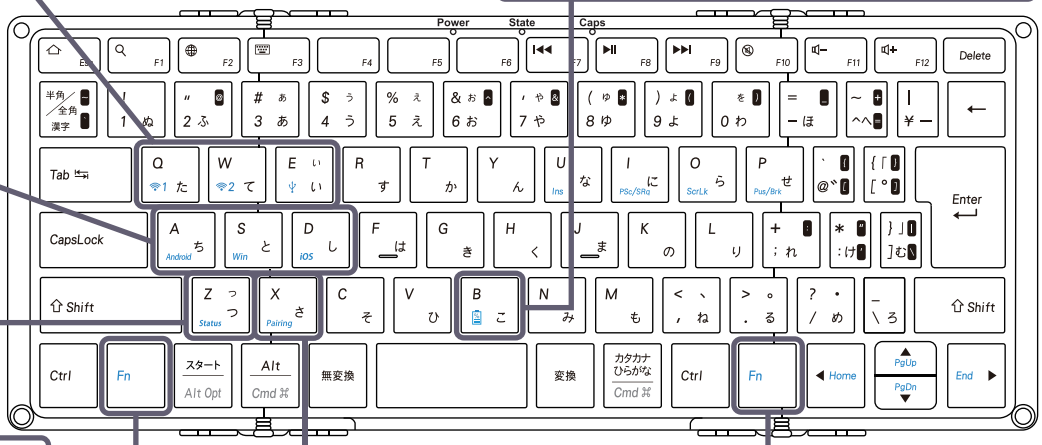
主な機能の説明

①接続デバイスチャンネルの選択と切り替え
Bluetooth 接続の場合は最大 2 台まで、
USB 優先接続を含めると最大 3 台までの機器との接続が可能です。
ペアリング時にデバイスチャンネル 1 およびデバイスチャンネル 2 に、それぞれ接続機器を登録することができます。
機器の切り替えは下記のキー操作で行います。
・Fn + Q (1)… デバイスチャンネル 1 に登録された Bluetooth 機器と接続
・Fn + W (2) … デバイスチャンネル 2 に登録された Bluetooth 機器と接続
・Fn + E ( ) …USB で有線接続した機器と接続

⑤バッテリー残量の確認
Fn + B を押すと、キーボードのバッテリー残量確認が可能です。
キーボード上部の LED ランプのうち、
左側の "Power" LED ランプが下記のように点灯します。
・緑色で 1 回点滅… 残量　0%～ 24%
・緑色で 2 回点滅… 残量約 25%～ 49%
・緑色で 3 回点滅… 残量約 50%～ 74%
・緑色で 4 回点滅… 残量約 75%～ 100%
※残量 25%以下（使用可能残り時間が 2 時間未満）になると、
Power LED ランプが赤色で点滅します。充電を行ってください。

③OS に合わせた出力キーコードの最適化
接続先に応じて、キーボードから出力される
キーコードを最適化することができます。
Android、Windows、iOS を操作する際に
最適なキーコードプリセットから選択可能です。
設定は、ペアリング設定の最後に行います。
最適化のキー操作は下記の通りです。

・Fn + A … AndroidOS に最適化されたプリセット
・Fn + S … Windows OS に最適化されたプリセット
・Fn + D … iOS に最適化されたプリセット



④接続中チャンネルの確認
Fn + Z (status) を押すと
接続中の Bluetooth 機器がどちらであるかを
確認することができます。
キーボード上部の LED インジケーターのうち、
中央の "State" インジケーターが下記のように点灯します。

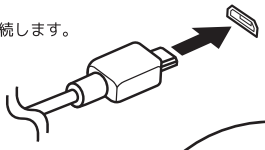
・デバイスチャンネル 1 に登録された Bluetooth 機器と
　接続中の場合 → 青色で 2 秒毎に 1 度点滅
・デバイスチャンネル 2 に登録された Bluetooth 機器と
　接続中の場合 → 青色で 2 秒毎に 2 度点滅
※1 分後、LED は自動的に消灯します。

②ペアリング
Fn + X を押すと、ペアリングモードに入ります

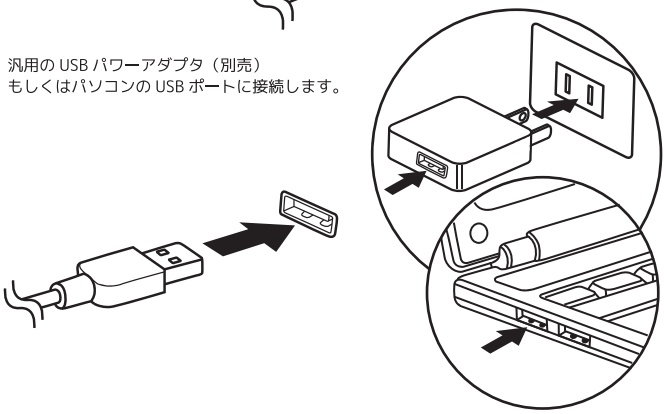
ダブル Fn キー
Fn キーとの同時押しで、青色で印字されたキーファンクション、
マルチメディアファンクション機能の操作を行うことができます。
Fn キーは、左右 1 キーづつ設けられており、ホームポジションに
手をおいた状態で、Fn キーと同時押しするキーを入力しやすい様
考慮しています。

キーボードを充電する

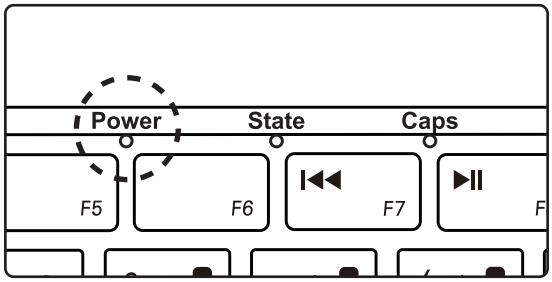
1 付属の USB ケーブルを
キーボードの MicroB ポートに接続します。



2 汎用の USB パワーアダプタ（別売）
もしくはパソコンの USB ポートに接続します。



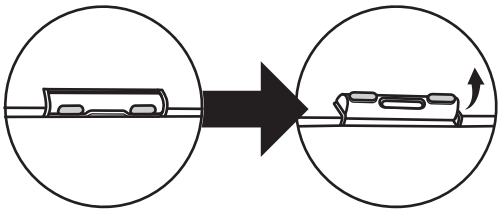
3 汎用の USB パワーアダプタ（別売）
もしくはパソコンの USB ポートに接続します。
充電中は LED ランプが赤く点灯します。
満充電になると「Power」LED ランプが消灯します。



※充電状況を確認については、"主な機能の説明" の項⑤を参照してください。

キーボードを開いて使う

両サイドがたわまないように左右のスタンドを立ち上げます。
キーボードを使用しない際（持ち運びの際）は、スタンドを元の位置に戻してください。



キーボードの電源を ON にする

キーボードを開くと自動的に電源が ON になります。
開いてから 10 秒間程度、「Power」LED が緑色に点灯します。
閉じるとキーボードは OFF になります。

●スリープモードについて
　キーボードを開いた状態で、長時間使用しないでいると、
　自動的にキーボードがスリープモードに切り替わります。
　スリープ解除は、いずれかのキーを 1 ～ 2 秒間長押ししてください。

キーボードを USB 接続で使用する

本製品は、パソコンと USB ケーブルで接続し、有線キーボードとしても使用できます。

1 付属の USB ケーブルをキーボードの MicroB ポートに接続します。

2 USB A type コネクタを、パソコンの USB ポートに接続します。

3 Fn キーを押しながら、E（ ）を押し、有線接続モードにします。

4 自動的に認識されます。

5 接続先の OS に合わせて、出力キーコードの最適化を行ってください。

※市販の変換アダプタ等を用いた、iOS デバイスとの接続は、サポート致しません。
　予めご了承ください。
※USB ハブや KVM スイッチ等を経由して接続した場合、キーボードが正しく認識
　されない場合や、誤動作の恐れがあります。
　個別の相性については、サポート致しません。予めご了承ください。

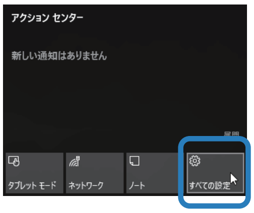
ペアリングする (Windows10 の場合)

※下記は、Windows® 標準の Bluetooth® 機能を使用する場合の説明です。
お使いの端末によっては、独自の Bluetooth® 機能を使用する場合があります。
その際は、それぞれの端末の取扱説明書をご確認ください。

❶「設定」画面を表示する

（デスクトップモードの場合）
「スタート」→「設定」の順にタップします。
※「スタート」・・・画面左下の、Windows マークをタップ。

（タブレットモードの場合）
デスクトップ画面を表示し、画面の右端から左に指をスライドさせ（スワイプし)、
もしくはタスクバーから「 」をタップし、アクションセンターを表示させます。
右下のアイコンから “すべての設定” をタップします。



❷「デバイス」画面を表示する

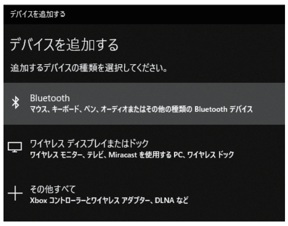
「デバイス」をタップします。

❸ Bluetooth の設定確認

左のデバイスメニューより「Bluetooth とその他のデバイス」をタップします。
「Bluetooth」がオフの場合はオンにします。
“Bluetooth またはその他のデバイスを追加する” 横の＋アイコンをタップします。

❹ デバイスを追加する

デバイスを追加するの、デバイスの種類の中から、「Bluetooth」をタップします。

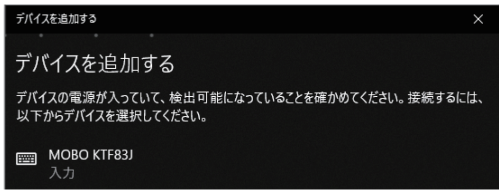


❺ 接続先を選択し、ペアリングモードを開始する

Fn キーを押しながら、Q(1) または W（2）のどちらかを押し、
接続先チャンネルを選択します。
選択後、Fn キーを押しながら X (Pairing) を押し、ペアリングモードを開始します。
ペアリングを開始すると、キーボードの「Staus」LED ランプが青色で点滅します。

❻ ペアリングを開始する

ペアリングの準備が完了すると、「MOBO KTF83J」が表示されます。
「MOBO KTF83J」をタップします。



接続されると “デバイスの準備が整いました！” と表示されます。
キーボード側の「Status」LED ランプが消灯し、ペアリングが終了します。
「MOBO KTF83J」が「接続済み」となったら、正しくペアリングできています。

❼ OS に合わせた出力キーコードの最適化

接続先に応じて、キーボードから出力されるキーコードを最適化します。
WindowsOS の場合は、Fn キーを押しながら S (Win) を押します。

ペアリングする (iOS の場合)

※iOS10 の iPad Air の画面を例に説明しています。

❶「設定」画面を表示する

「設定」をタップします。

❷ Bluetooth の設定確認

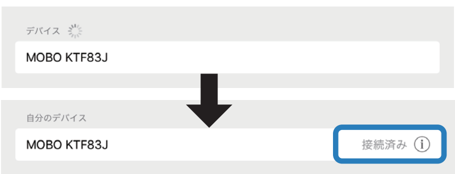
「Bluetooth」をタップします。
「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。

❸ 接続先を選択し、ペアリングモードを開始する

Fn キーを押しながら、Q(1) または W（2）のどちらかを押し、
接続先チャンネルを選択します。
選択後、Fn キーを押しながら X (Pairing) を押し、ペアリングモードを開始します。
ペアリングを開始すると、キーボードの「Status」LED ランプが青色で点滅します。

❹ ペアリングを開始する

ペアリングの準備が完了すると、「MOBO KTF83J」が表示されます。
「MOBO KTF83J」をタップすると、ペアリングが開始されます。



キーボード側の「Status」LED ランプが消灯し、ペアリングが終了します。
「MOBO KTF83J」が「接続済み」となったら、正しくペアリングできています。

❺ OS に合わせた出力キーコードの最適化

接続先に応じて、キーボードから出力されるキーコードを最適化します。
iOS の場合は、Fn キーを押しながら D (iOS) を押します。

注意
・iOS に接続時は、英語配列キーボードとして認識されます。（iOS10 時点）
そのため、一部押しても入力されないキーがあります。　[例：[- \ ろ] キー]

ペアリングする (Android の場合)

❶「設定」画面を表示する

メニューを押して、「設定」をタップします。

❷ Bluetooth の設定確認

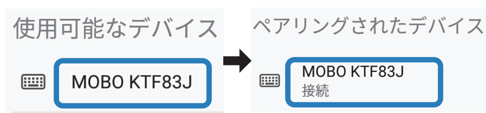
「無線とネットワーク」の「Bluetooth」をタップします。
「Bluetooth」がオフの場合は、オンにしてからタップします。

❸ 接続先を選択し、ペアリングモードを開始する

Fn キーを押しながら、Q(1) または W（2）のどちらかを押し、
接続先チャンネルを選択します。
選択後、Fn キーを押しながら X (Pairing) を押し、ペアリングモードを開始します。
ペアリングを開始すると、キーボードの「Status」LED ランプが青色で点滅します。

❹ ペアリングを開始する

ペアリングの準備が完了すると、使用可能なデバイスに
「MOBO KTF83J」が表示されます。
「MOBO KTF83J」をタップすると、ペアリングが開始されます。

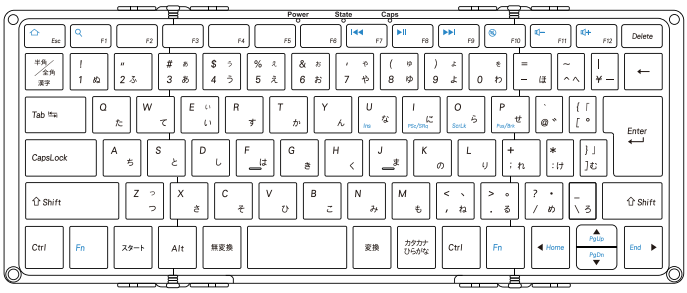


キーボード側の「Status」LED ランプが消灯し、ペアリングが終了します。
「MOBO KTF83J」が「接続」となったら、正しくペアリングできています。

❺ OS に合わせた出力キーコードの最適化

接続先に応じて、キーボードから出力されるキーコードを最適化します。
Android OS の場合は、Fn キーを押しながら A (Android) を押します。
※機器ごとに表示や設定方法が異なります。各機器の取扱説明書をご参照ください。

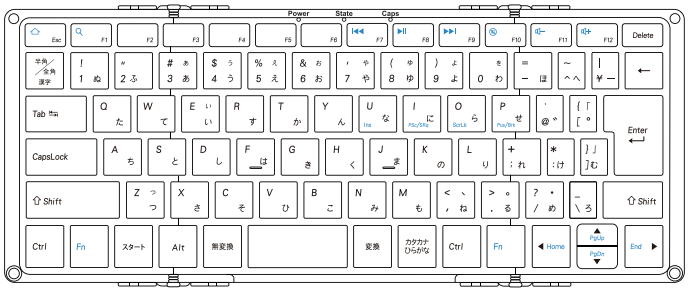
Windows OS 最適化時の配列図



Fn + ESC	=	（ブラウザの起動）	Fn + U	=	Ins （Insert）
Fn + F1	=	（検索）	Fn + I	=	PSc/SRq （PrintScreen/SysRq）
Fn + F7	=	（前のトラックへ）	Fn + O	=	ScrLk （Scroll Lock）
Fn + F8	=	（再生 / 停止）	Fn + U	=	Pus/Brk （Pause/Break）
Fn + F9	=	（次のトラックへ）	Fn + ←	=	Home
Fn + F10	=	（音声ミュート）	Fn + →	=	End
Fn + F11	=	（ボリュームダウン）	Fn + ↑	=	PgUp （PageUp）
Fn + F12	=	（ボリュームアップ）	Fn + ↓	=	PgDn （PageDown）

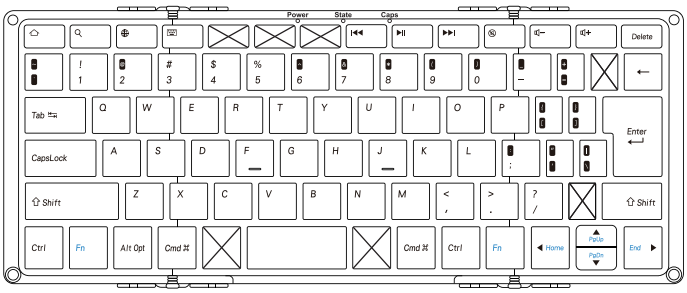
◎キーボードの印字通り入力できない場合［例 Shift + 2 が @ と入力される］は、
お使いの Windows PC もしくはタブレットが、当キーボードを英語配列キーボード
としている可能性があります。その場合は、OS の再設定を行ってください。

Android 最適化時の配列図



◎Android OS は、オープンソース OS です。そのため、各 Android 機器メーカーごとに
キーボードの認識方法が異なります。配列図通りの入力を保証致しません。
設定方法は、各デバイスの取扱説明書をご参照ください。
◎弊社から専用のアプリケーション等の配布は行っておりません。予めご了承ください。

iOS 最適化時の配列図



◎iOS の機器にアップル純正品以外の「日本語配列」のキーボードを接続すると
「英語配列」のキーボードとして認識されます。これは iOS の仕様によるもので、
キーボードの不具合ではありません。
◎英語配列キーボードに存在しないキーなどは、キーを押しても入力されません。
また、かな入力には対応していません。予めご了承ください。

（ホーム画面に戻る）
（Spotlight 検索）
（入力言語の切替）
（ソフトウェアキーボードとの切替）
（前のトラックへ）
（再生 / 停止）
（前のトラックへ）
（音声ミュート）
（ボリュームダウン）
（ボリュームアップ）
Fn + ← = Home
Fn + → = End
Fn + ↑ = PgUp（ページアップ）
Fn + ↓ = PgDn（ページダウン）

補足 1: iOS9 以降のショートカット機能について
iOS9 以降が動作する iPad では、Command の長押しで各アプリ毎に
使用可能なショートカットの一覧表示が可能になりました。
また、APP スイッチャーと呼ばれる、起動中のアプリを切り替え可能なショートカット
機能も利用できます。（注意：iOS9.1 以降で動作）

補足 2: 入力言語切り替えについて
iOS9 以降の入力言語切り替えの方法が変更になりました。

◎ iOS9 以降の場合
Ctrl + Space

◎ iOS8 以前の場合
Command+ Space

製品仕様

キー配列	日本語 JIS 配列　※iOS のかな入力には対応していません。
キー数	83 キー
キースイッチタイプ	パンタグラフ（アイソレーションタイプ）
キーピッチ	19mm（一部 16.6mm/14.3mm）
キーストローク	1.5mm
キー耐久回数	約 300 万回
Bluetooth 規格	Bluetooth ver.3.0
対応プロファイル	HID
通信方式	GFSK
電波周波数	2.4GH z
動作可能距離	10m（Bluetooth 接続時）
有線接続	可能（USB インターフェース）
USB コネクタタイプ	microUSB
定格電圧	3.1V-4.2V
電源	内蔵リチウムポリマー充電池 (Bluetooth 接続時） USB バスパワー（USB 接続時）
バッテリー容量	210mAh
充電時間	最大約 4 時間
連続使用時間	最大 84 時間
動作温度	0～ 55℃
対応 OS	iOS9 以降 / Windows8.1 以降 / Android4.1 以降
材質	キーボード本体：アルミニウム /ABS/TPE スタンドカバー：PU レザー /PC/ マイクロファイバー / シリコン
キーキャップ印字	シルク印刷（UV コーティング）
重量	キーボード本体：286g スタンドカバー：172g
本体サイズ	折りたたみ時：166(W) × 15(D) × 120(H) mm 使用時：291(W) × 13(D) × 120(H) mm
付属品	USB ケーブル(A タイプオス -MicroB タイプオス / ケーブル長 : 約 1.5m） 専用スタンドカバー 取扱説明書兼保証書 (本紙）

■トラブルシューティングや製品に関する FAQ に関しては、
下記のページでも公開しておりますので、ご参照ください。

http://www.archisite.co.jp/support/faqkeyboard/